

# 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月10日

上場会社名 株式会社王将フードサービス  
コード番号 9936

上場取引所 大証一部

URL <http://www.ohsho.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大東 隆行

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役経営企画部長 (氏名)鈴木 和久 TEL (075) 592 - 1411

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	11,886	2.8	1,245	△2.2	1,244	0.9	655	2.4
19年3月期第1四半期	11,558	3.9	1,273	0.7	1,233	4.4	640	20.0
19年3月期	47,206	—	5,355	—	5,236	—	2,501	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	30	05	30	00
19年3月期第1四半期	28	97	28	80
19年3月期	114	64	114	18

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	48,200		21,495		44.6	984	92	
19年3月期第1四半期	46,888		19,052		40.6	887	16	
19年3月期	46,954		21,424		45.6	980	75	

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	250		△945		1,580		4,408	
19年3月期第1四半期	1,719		△720		△680		2,941	
19年3月期	7,543		△2,685		△3,960		3,522	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	24,646	3.7	2,837	3.9	2,776	5.3	1,341	△8.1	61	47
通期	49,296	4.4	5,674	5.9	5,570	6.4	2,754	10.1	126	24

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提、その他の関連する事項については、4ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、企業収益の改善を背景に、設備投資の増加や雇用環境の改善により、概ね好調に推移いたしました。しかし、BRICsと呼ばれる新興工業国のエネルギー・食料需要の増加等により一次産品価格が上昇傾向にあり、一部物価への影響も出始めております。

外食業界におきましては、市場規模は底打ち感が見え始めているものの、依然として商圏内ではオーバーストアが続いており、総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、2007年のスローガンを『進化』と定め、コアメニューである「餃子」の品質をより高めるために生産機器の設備投資を行う一方、より高品質な料理を提供するよう「焼飯」「酢豚」などの主力商品についても調理方法を見直してまいりました。またサービス面においても、接客研修を定期的実施することでサービスの向上に努める一方、衛生面においても、店内の重点清掃区域を定めてクレンリネスの徹底を行う等、QSC全般に亘って“餃子の王将”を進化させてまいりました。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営3店、フランチャイズ（以下FCという）2店の新規出店を行いました。これにより期末店舗数は、直営318店（うちLS[委託ライセンスシステム]6店）、FC182店（うち委託FC6店）となりました。また、新規出店と並行して、既存店の改装にも新規出店並みの設備投資を行うなど力を入れ、一店一店地域に密着した繁盛店作りを進めてまいりました。

以上の結果、連結売上高は、前年同期に比べて3億28百万円（2.8%）の増収で118億86百万円となりました。なお、既存店売上高は前年同期に比べて0.2%の微減となりました。

営業利益は、主要食材の仕入価格が安価で推移いたしました。エネルギーコストの高騰や税制改正に伴う減価償却費の増加等により、前年同期に比べて28百万円（2.2%）減少し、12億45百万円となりました。

経常利益は、有利子負債の圧縮や金利の見直しによる支払利息の減少等により、前年同期に比べて11百万円（0.9%）増加し、12億44百万円となりました。

当期純利益は、固定資産除却損の減少等により、前年同期に比べ15百万円（2.4%）増加し、6億55百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第1四半期における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて12億45百万円（2.7%）増加し、482億円となりました。主な増加要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10億43百万円（22.2%）増加し、57億35百万円となりました。主な要因は、営業活動に伴う現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円（0.5%）増加し、424億65百万円となりました。主な要因は、新規出店及び既存店改装に伴う有形固定資産の増加等であります。

（負債の部）

当第1四半期における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて11億75百万円（4.6%）増加し、267億5百万円となりました。主な増加要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円（2.2%）増加し、141億8百万円となりました。主な要因は、確定納付による未払法人税等の減少や、短期借入金の増加等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8億70百万円(7.4%)増加し、125億97百万円となりました。主な要因は、社債の償還に伴う減少や、長期借入金の増加等であります。なお、借入金と社債の残高は193億16百万円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて70百万円(0.3%)増加し、214億95百万円となりました。主な要因は、当四半期純利益の増加や、配当金の支払による減少等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.6%から44.6%に減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末の現金及び預金同等物は、前連結会計年度末に比べて8億86百万円増加し、44億8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期より14億68百万円(85.4%)減少し、2億50百万円となりました。これは、前年同期における法人税等の支払額が純額で還付となっているのが主要因です。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億88百万円に減価償却費4億65百万円等を加えた額から法人税等の支払額15億91百万円等を減じた額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同期より2億24百万円(31.2%)増加し、9億45百万円となりました。これは、前年同期に投資不動産の売却代金の回収があったのが主要因です。

主な内訳は有形固定資産の取得8億87百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は前年同期より22億61百万円増加し、15億80百万円となりました。これは、前年同期に自己株式の取得による支出があったのが主要因です。

主な内訳は、借入金等の純増加20億71百万円等による収入、配当金の支払4億94百万円等による支出であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当初(平成19年5月18日決算発表時)の見通しに対して、当第1四半期連結業績は想定した範囲内の実績であるため、達成できるものと見込み、業績予想は変更しておりません。

当期の国内経済は、引き続き堅調に推移するものと思われませんが、米国景気の減速や金利上昇懸念等により先行き不透明感が漂い、外食業界におきましても、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような中、当社グループは店舗開発や販売促進活動の強化及び既存店の活性化を行い、他企業との差別化を図ってまいります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金及び税金費用の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)		前連結会計年度末 (平成19年3月期末)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産	4,392	9.4	5,735	11.9	4,691	10.0	1,043	22.2
1. 現金及び預金	3,009		4,472		3,585		886	
2. 売掛金	84		97		104		△6	
3. たな卸資産	246		258		267		△8	
4. その他の流動資産	1,051		906		734		171	
II 固定資産	42,495	90.6	42,465	88.1	42,262	90.0	202	0.5
1. 有形固定資産	34,924	74.4	34,990	72.6	34,769	74.0	221	0.6
2. 無形固定資産	93	0.2	70	0.1	75	0.2	△5	△7.8
3. 投資その他の資産	7,477	16.0	7,404	15.4	7,417	15.8	△12	△0.2
資産合計	46,888	100.0	48,200	100.0	46,954	100.0	1,245	2.7
(負債の部)								
I 流動負債	15,313	32.7	14,108	29.3	13,803	29.4	304	2.2
1. 買掛金	1,015		1,069		1,173		△103	
2. 一年内償還予定の社債	1,645		1,575		1,595		△20	
3. 短期借入金	4,400		1,400		280		1,120	
4. 一年内返済予定の 長期借入金	4,926		6,176		6,151		24	
5. その他の流動負債	3,326		3,887		4,603		△716	
II 固定負債	12,522	26.7	12,597	26.1	11,726	25.0	870	7.4
1. 社債	3,377		2,802		3,342		△540	
2. 長期借入金	6,626		7,362		5,875		1,486	
3. その他の固定負債	2,519		2,431		2,508		△76	
負債合計	27,836	59.4	26,705	55.4	25,530	54.4	1,175	4.6
(純資産の部)								
I 株主資本	22,871	48.7	25,025	51.9	24,910	53.1	114	0.5
1. 資本金	8,166	17.4	8,166	16.9	8,166	17.4	—	—
2. 資本剰余金	9,027	19.2	9,026	18.7	9,026	19.2	—	—
3. 利益剰余金	8,861	18.9	10,401	21.6	10,292	21.9	108	1.1
4. 自己株式	△3,183	△6.8	△2,570	△5.3	△2,575	△5.4	5	△0.2
II 評価・換算差額等	△3,819	△8.1	△3,562	△7.4	△3,509	△7.5	△52	1.5
1. その他有価証券 評価差額金	81	0.2	△5	△0.0	46	0.1	△52	△112.3
2. 土地再評価差額金	△3,910	△8.3	△3,571	△7.4	△3,571	△7.6	—	—
3. 為替換算調整勘定	9	0.0	14	0.0	14	0.0	0	△0.9
III 新株予約権	—	—	32	0.1	23	0.0	8	37.5
純資産合計	19,052	40.6	21,495	44.6	21,424	45.6	70	0.3
負債及び純資産合計	46,888	100.0	48,200	100.0	46,954	100.0	1,245	2.7

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
	金額	百分率	金額	百分率	金額	百分率	金額	百分率
I 売上高	11,558	100.0	11,886	100.0	328	2.8	47,206	100.0
II 売上原価	3,578	31.0	3,624	30.5	46	1.3	14,345	30.4
売上総利益	7,980	69.0	8,262	69.5	281	3.5	32,861	69.6
III 販売費及び一般管理費	6,706	58.0	7,017	59.0	310	4.6	27,505	58.3
営業利益	1,273	11.0	1,245	10.5	△28	△2.2	5,355	11.3
IV 営業外収益	67	0.6	83	0.7	16	24.2	267	0.6
V 営業外費用	107	0.9	83	0.7	△23	△22.0	386	0.8
経常利益	1,233	10.7	1,244	10.5	11	0.9	5,236	11.1
VI 特別利益	—	—	—	—	—	—	18	0.0
VII 特別損失	77	0.7	55	0.5	△21	△27.4	803	1.7
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,156	10.0	1,188	10.0	32	2.8	4,450	9.4
法人税等	515	4.5	532	4.5	17	3.3	1,948	4.1
四半期(当期) 純利益	640	5.5	655	5.5	15	2.4	2,501	5.3

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	(単位：百万円)		
	前年同四半期 (平成19年3月期第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
期 別	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,156	1,188	4,450
減価償却費	416	465	1,832
減損損失	—	—	125
貸倒引当金の増減額	△1	2	15
退職給付引当金の減少額	△13	△10	△51
役員退職慰労引当金の増加額	—	7	315
受取利息及び受取配当金	△16	△16	△35
支払利息	73	59	271
投資有価証券評価損	—	—	80
固定資産売却損益	—	—	36
固定資産除却損	77	55	262
たな卸資産の増減額	△18	8	△39
仕入債務の増減額	△110	△103	47
未払消費税等の増減額	66	85	△8
その他	△14	153	304
小計	1,614	1,894	7,608
利息及び配当金の受取額	16	17	34
利息の支払額	△90	△69	△276
法人税等の還付額	216	—	216
法人税等の支払額	△38	△1,591	△40
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,719	250	7,543
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増減額	12	△0	17
有形固定資産の取得による支出	△922	△887	△2,829
有形固定資産の売却による収入	—	—	78
収用補償金の受取による収入	63	—	63
投資有価証券の取得による支出	△111	—	△121
貸付けによる支出	△21	△19	△53
貸付金の回収による収入	10	12	58
差入保証金の差入による支出	△22	△27	△180
投資不動産の売却による収入	315	—	315
その他	△44	△21	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△720	△945	△2,685
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	4,120	1,120	—
長期借入れによる収入	200	3,500	4,500
長期借入金の返済による支出	△1,593	△1,988	△5,419
社債の発行による収入	391	—	1,385
社債の償還による支出	△520	△560	△1,605
自己株式の取得による支出	△2,766	△0	△2,767
自己株式の処分による収入	—	3	517
配当金の支払額	△511	△494	△572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△680	1,580	△3,960
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	1
V 現金及び現金同等物の増加額	317	886	898
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,624	3,522	2,624
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,941	4,408	3,522

四半期連結部門別売上高の明細

(単位：百万円)

	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)		前年同四半期 (平成19年3月期第1四半期)	
	店舗数	金額	店舗数	金額
	店		店	
中華専門店				
直営店	315	10,741	303	10,401
フランチャイズ加盟店	182	1,088	183	1,093
小計	497	11,829	486	11,495
その他 (主として直営和食店)	3	56	3	63
合計	500	11,886	489	11,558

- (注) 1. 店舗数は、第1四半期末時点の店舗数です。  
 2. 中華直営店には、子会社が運営する2店舗が含まれています。